

# JPA 日本光線力学学会 NEWS LETTER

NO.33 OCT. 2025



## Contents

- ・第 35 回日本光線力学学会学術講演会 開催案内 … 2 ページ
- ・今後の学術講演会開催予定・関連学会開催予定 … 4 ページ
- ・Topics
  - IPA 2025 in Shanghai, China に参加して (秋元治朗) … 5 ページ
  - 第 22 回韓国光線力学学会総会 参加報告 (古川欣也) … 6 ページ
  - 再発食道がんに対するサルベージ PDT  
—臨床導入 10 年の歩み (矢野友規、武藤学) … 7 ~ 8 ページ
- ・学会役員 学会開催歴・開催予定 … 9 ~ 10 ページ
- ・編集後記 (福原秀雄) … 11 ページ
- ・事務局からのお知らせ … 12 ~ 13 ページ
- ・広告 … 14 ~ 15 ページ

## 第35回日本光線力学学会学術集会の開催にあたり

矢野 友規

第35回日本光線力学学会会長

(国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 科長)

この度、第35回日本光線力学学会 学術講演会の会長を拝命しました国立がん研究センター 東病院の矢野友規と申します。私が若い頃から育てて頂いた本学会の会長を務めさせて顶くことを大変光栄に思い、学会関係の諸先生方には深く感謝を申し上げます。

今回は、2025年11月22日(土)～24日(月・祝)の3日間、LASER WEEK VI in Tokyo 2025として、東京慈恵会医科大学 大学1号館にて開催致します。希望の光、レーザー医学・光線力学の進歩と挑戦をテーマに、第46回日本レーザー医学会総会(大会長 坂本 優先生)、第21回日本脳神経外科光線力学学会(大会長 鰐淵 昌彦先生)との3学会合同での開催となります。両大会長と相談の上、光線力学診断(PDD)、光線力学療法(PDT)、光免疫療法(PIT)について、光感受性物質やレーザー機器開発など基礎的なセッションから具体的な臨床データや将来展望まで、趣向を凝らしたプログラムを多数準備しております。また、今年は再発食道癌に対する第2世代PDTが臨床導入されて10周年になりますので記念シンポジウムもご用意しております。これまでのLASER WEEKと同様に、領域横断的な学術交流が可能となる貴重な機会になるよう、坂本会長、鰐淵会長をはじめプログラム委員の先生方と鋭意準備を進めております。また、これを機に、光線力学を新しい医療に応用し実現することを夢見る全ての方に学会員になって頂くべく声掛けを進めています。多くの学会員の先生方と秋の東京でお会いし、光線力学について深い議論が出来ますことを心から楽しみにしております。ご指導ご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

# LASER WEEK

in Tokyo 2025

## VII

希望の光、レーザー医学・光線力学の進歩と挑戦

2025.11.22(土) - 24(月・祝)

※講演プログラムは22日(土)午後より

東京慈恵会医科大学 大学1号館

会長 坂本 優

(公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院 顧問/婦人科  
東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 客員教授)



副会長 大城 貴史

(大城クリニック 院長 / 日本レーザー医学会 副理事長)



朝比奈 昭彦

(東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座 主任教授)

第46回  
日本レーザー医学会総会

会長 矢野 友規

(国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 科長)



第35回  
日本光線力学学会学術講演会

会長 鰐渕 昌彦

(大阪医科大学 脳神経外科学教室 教授)



第21回  
日本脳神経外科光線力学学会

演題募集期間：2025年5月20日(火)正午～7月10日(木)正午

運営事務局：株式会社 学会サービス 〒150-0032 東京都渋谷区鷺谷町7-3-101 TEL: 03-3496-6950 E-mail: laser2025@gakkai.co.jp

## 今後の学術講演会開催予定

敬称略

### ◆第 35 回日本光線力学学会学術講演会

大 会 長: 矢野 友規 (国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 科長  
/ 内視鏡センター長)

会 期: 2025 年 11 月 22 日(土) ~ 11 月 24 日(月・祝)

会 場: 東京慈恵会医科大学 大学 1 号館

・Laser Week VI in Tokyo として、日本レーザー医学会、日本脳神経外科光線力学  
学会の 3 学会共催

### ◆第 36 回 日本光線力学学会学術講演会

大 会 長: 井上 啓史 (高知大学 医学部長 / 高知大学医学部泌尿器科学講座 教授)

会 期: 2026 年 5 月 22 日(金)、5 月 23 日(土)

会 場: 高知大学 (高知県立県民文化ホール)

### ◆第 37 回 日本光線力学学会学術講演会

大 会 長: 守本 祐司 (防衛医科大学校 生理学講座 教授)

## 関連学会開催予定

### ◆ International Photodynamic Association、20th World Congress

会 期: 2027 年 summer

会 場 所: トルコ、イスタンブール

詳 細: 近日公開

### ◆第 77 回西日本泌尿器科学会総会

The 77th Annual Meeting of West Japan Urological Association

テ ーマ : 百科繚乱～泌尿器科維新～

会 長: 井上 啓史 (高知大学 医学部長 / 高知大学医学部泌尿器科学講座 教授)

会 期: 2025 年 11 月 13 日(木) ~ 16 日(日) ※ 16 日は、市民公開講座を予定

会 場: 高知県立県民文化ホール、ザ・クラウンパレス新阪急高知

運営事務局: 株式会社キヨードープラス 内

TEL: 086-250-7681、E-mail: wjua2025@kwcs.jp

## Topics

## IPA 2025 in Shanghai, China に参加して

秋元 治朗

(総合病院厚生中央病院 副院長・脳神経外科部長)



6月12~15日の4日間、隔年開催のIPA 2025 in Shanghaiに参加して参りました。

私はIPA会員となって12年となります。同学会のorganized committeeから初めて脳腫瘍のPDTに関するKeynote lectureを行う様、依頼を受けた次第です。

上海は九州より南に位置し、非常に高温多湿の毎日を過ごしました。上海国際会議中心という近代的なビルの3階を貸し切った会場で、私に課せられたのは、前述のkeynote lectureの他、Brainというセッションの座長でした。いずれもyellow-river(黄河の支流)ホールというメイン会場で開催されております。

学会のプログラムが完成した時点で驚いたのは、発表者の8割以上が中国人であり、欧米からの発表はごくわずか、日本を含めたアジアからの発表もわずかであることでした。参加人数は723名とのことでしたが、私が見る限り中国以外からの参加者は100名に満たなかったと思われます。中国開催とのことで、どうしても政治的な関係の憂慮は否めないと思われました。次に驚いたことは、口演発表の際にリアルタイムでAIによる中国語字幕がスライド上面に映し出されることでした。時に中国語でプレゼンして英語字幕が映し出され、質疑応答も中国語、聴衆は字幕を眺めるといった、AI研究の最先端を走る中国らしいシステムに驚きを隠せませんでした。私のKeynote lectureは14日の朝一番に30分間行わせていただきました。沢山の質問をいただき、一つ一つに真摯に答えさせていただきました。最後に会長のWang教授から大きな拍手と握手をいただいた次第です。シンポジウムBrainでは5演題が中国から、2演題が我々のチームからという布陣でしたが、中国からの演者全員が英語での質問にほとんど答えられず、不完全な議論に終始していました。日本からの2演題は、いずれも素晴らしい内容であり、聴衆からの賛辞を受けておりました。

閉会式は中国の参加者たちのお祭り騒ぎでした。歴代のIPA理事長の諸氏と挨拶を交わしながら、今後のIPA国際会議の開催国についてのご意見をいただきました。やはり学術会議は国際政治的な問題のある国で行うべきでは無いこと、華美な学会運営で、参加費が800ドルでは参加できる国も限られる事など、彼らは総じて日本での開催を望んでおりました。日本でこの会議を受け持つかは、これから多くの先生方に考えていただきたい議題ではあります。少なくともIPA国際会議の問題点の多くが垣間見えた学会となつたことは間違ひありませんでした。

私は閉会式後に上海AM1.30発の便で帰国し、そのまま外来診療に入りました。社畜便とも呼ばれるこの深夜便は、ほぼ満席で日本のサラリーマンで溢れておりました。改めて中国という国を知り、PDTをいかにこの国で普及させるかを考える良い機会となつた次第です。今後も日本のPDT研究の国際的プレゼンスを高めるべく、努力してゆきたいと思います。



## 第 22 回韓国光線力学学会総会 参加報告

古川欣也  
(JPA 理事長)

2025 年 8 月 22 日、韓国ソウル市近郊の高陽市にある韓国国立がんセンターで第 22 回韓国光線力学学会総会 (KPA, President: Jae Myung Park, MD. Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Seoul St. Mary's Hospital, The Catholic University of Korea) が開催されました。

私が招聘され、日本の PDT の現状に関して講演してきました。講演タイトルは、「Recent Advances and Future Directions of Clinical PDT for Malignant Diseases in Japan」とし、1) IPA, JPA の歴史と発展、2) レザフィリンを使用した中心型早期肺癌、原発性脳腫瘍、CRT・RT 後の再発・遺残食道癌の PDT の臨床試験成績と保険適用、3) 現在終了したばかりの末梢早期肺癌および子宮頸部 CIN に対するレザフィリン PDT の臨床試験成績、4) 今後期待される Photodynamic Priming (PDP) と ICI の併用療法などについて講演しました。

韓国の PDT は、肺癌・食道癌に対するフォトフリンを用いた PDT のみが適応で、自費診療のみでの治療のようです。現在、韓国で新しく開発された "Phonozen" という新規光感受性物質(糖鎖クロリン)を用いて、膵臓癌の治療や腹膜転移巣の診断治療の臨床試験が始まっているようです。今後、再び KPA との連携を深めていきたいと存じます。



前会長 Y. Choi 教授と (右端)



講演風景



JM. Park 会長と (右から二人目)

## Topics

### 再発食道がんに対するサルベージ PDT 臨床導入 10 年の歩み

矢野友規<sup>\*1</sup>、武藤学<sup>\*2</sup>

(<sup>\*1</sup> 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科)

(<sup>\*2</sup> 京都大学大学院医学研究科 腫瘍内科)

食道がん診療における重要な臨床的課題である化学放射線療法 (CRT) 後遺残再発食道がんに対して、レザフィリンと PD レーザーを用いた PDT が 2015 年 10 月 1 日に保険収載となり、臨床導入されました。本年は、サルベージ PDT が臨床導入されて 10 年にあたり、その節目に JPA ニュースに記事を掲載する機会を頂きましたので、過去の資料を振り返り執筆を致します。

我々が、CRT 後遺残再発食道がん患者さんに対して初めてフォトフリン PDT を行いその効果を実感したのが、2002 年 12 月でした。その後、第 II 相臨床試験を行い、高い有効性を確認しましたが、フォトフリンを用いたサルベージ PDT は医療者や患者側としては日光過敏症による QOL 低下、企業側としては不採算性という大きな課題があり、2010 年 3 月にエキシマダイレーザーが販売中止になりました。我々は肺癌に対して薬事承認され脳腫瘍で医師主導治験を行っていたレザフィリン PDT の食道癌への適応拡大を希望しましたが、当時は、企業側の賛同が得られず、京都大学腫瘍内科学教室を中心にアカデミア主導で、基礎研究での POC 取得から臨床研究まで行いました。基礎研究では、抗がん剤薬物耐性食道癌細胞株を用いたレザフィリン PDT の POC 取得、ビーグル犬を用いたレーザーの安全な照射量の検討や組織障害性の確認に成功致しました。臨床研究として実施した第 I 相試験では、レーザー照射量を段階的に増やしましたが用量制限毒性は認めず、再発食道がんに対する推奨レーザー照射量 (100J/cm<sup>2</sup>) に定めることが出来、第 I 相試験でも半数以上の患者さんが完全奏効 (CR) にまで至りました。この段階になって、企業側からの協力も得られ、厚生労働科学研究費「医療技術実用化総合研究事業(武藤班)」として、2012 年 10 月から 2014 年 3 月にかけて国内 7 施設で承認申請を目指した医師主導治験を実施しました(図1: 2014 年 7 月 武藤班班会議での集合写真)。医師主導治験には、26 例 28 病変 (T1b:21 病変、T2:7 病変) が登録され、23 例が

CR になり (CR 割合 88.5%)、T1 病変の CR 割合は 100%、T2 病変では 57.1% でした。2 週間の遮光期間で、日光過敏症は 1 例も認めず、食道瘻などの重篤な合併症も認めませんでした。医師主導治験の良好な有効性と安全性の結果によって、レザフィリンと PD レーザーを用いた PDT は、2015 年 5 月 26 日に放射線治療後遺残再発食道がんに対して薬事承認され、その後保険適応になりました。保険収載においては、PDT 半導体レーザー用プローブは特定保健医療材料として指定さ



図1 武藤班班会議集合写真

れることが出来、企業側の課題であったレーザー機器販売後の持続的な採算性についても、大きな進歩が得られました。

再発食道癌に対するレザフィリン PDT の薬事承認の条件として、PMDA から高い有効性と安全性を保ちながら普及するためにガイドラインの作成と講習会の実施が求められました。ガイドライン作成や講習会の実施においては、本学会をはじめ、日本レーザー医学会や日本食道学会の先生方に多大なる御支援や御指導を賜りました。お陰様でこれまで 141 施設から 537 名が講習会受講を完了し、全国 51 施設で臨床導入することが出来ました（図2：講習会での写真）。



図2 講習会での写真

また、我々は導入した施設にお声掛けをし、企業と協力して毎年ミーティングを行い、施設での有害事象例や治療成績を共有して頂いた上で意見交換を行い、PDT を日本全国で安全かつ有効な治療として普及出来るように努めております（図3：ユーザーズミーティング）。さらに、食道がんの診療全体においても、レザフィリン PDT の認知は進んでおり、2022 年度版食道癌診療ガイドラインにおいて「化学放射線療法後、食道内のみの遺残・再発食道癌 (cT1b) に、PDT を弱く推奨する」という推奨文が記載されるようになりました。

食道がん診療においても、高齢患者の増加に伴い非外科的治療のニーズは高まる一方です。我々は、今後もレザフィリン PDT の更なる普及に努め、一人でも多くの食道がん患者さんを低侵襲に食道を温存したまま、普通に食事が食べられる状態で治したいと考えています。サルベー



図3 ユーザーズミーティング

ジ PDT の臨床導入さらにはその後の普及啓蒙活動においては、本学会名誉会長の加藤治文先生、理事長の古川欣也先生、学会理事、監事、評議員の先生方、日本レーザー医学会前理事長の中村哲也先生、理事長および理事、評議員の先生方など多くの先生方の御支援や御指導を賜りました。さらには京都大学病院関係者の皆様、医師主導治験参加施設の先生方、Meiji Seika ファルマおよびパナソニックヘルスケアの関係者の皆様には多大なる御協力と賜り、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

最後に、2025 年 11 月 22 日から 24 日に東京新橋の東京慈恵会医科大学 1 号館で開催する LASER WEEK in Tokyo VI では、JPA シンポジウム1「再発食道癌に対する PDT 臨床導入 10 周年シンポジウム」を企画しております。JPA 学会員の先生方におかれましては、是非現地にお越し頂き、御聴講の上、活発な議論や御指導を賜れますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

## 日本光線力学学会 役員 (2025年4月～)

\*50音順、敬称略

名誉会長	故 早田 義博
	加藤 治文
名誉副会長	中島 進
名誉会員	故會沢 勝夫 故栗津 邦男 故奥田 茂 故久住 治男 故竹村 健 故平嶋 登志夫 故南 三郎 故三村 征四郎 故吉田 知之 荒井 恒憲 伊関 洋 金子 貞男 黒岩 敏彦 小中 千守 斎藤 明義 阪田 功 林 潤一 平野 達 松村 明 松本 義也 三木 徳彦 三好 憲雄 室谷 哲弥 吉田 孝人
特別会員	小幡 純一 川島 徳道 木村 誠 黒田 寛人 長崎 正継 仲里 正孝 中島 元夫 渡邊 正俊
理事長	古川 欣也
副理事長	武藤 学 村垣 善浩 井上 啓史
理事	秋元 治朗 池田 徳彦 磯本 一 白田 実男 岡崎 茂俊 岡本 芳晴 小川 恵美悠 奥仲 哲弥 小倉 俊一郎 尾花 明 片岡 洋望 坂本 優 佐藤 俊一 土田 敬明 中村 哲也 平川 和貴 松井 裕史 守本 祐司 矢野 友規
監事	大崎 能伸 西脇 由朗
会計	奥仲 哲弥
評議員	秋元 治朗 池田 徳彦 石川 栄一 石原 立 磯本 一 井上 啓史 今井 健太郎 白田 実男 浦野 泰照 大崎 能伸 大崎 智弘 大城 貴史 大谷 圭志 大平 達夫 岡 潔 岡崎 茂俊 小笠原 浩二 岡本 芳晴 小川 恵美悠 奥仲 哲弥 小倉 俊一郎 小澤 俊幸 小野 祥太郎 小野 裕之 尾花 明 片岡 洋望 金山 尚裕 金子 久恵 川内 聰子 北田 正博 櫛引 俊宏 工藤 勇人 黒崎 雅道 郷渡 有子 小林 正美 坂本 優 佐藤 俊一 鈴木 猛司 宗田 孝之 田中 守 近間 泰一郎 土田 敬明 中津留 誠 中村 哲也 中村 浩之 七島 篤志 権原 啓之 西村 隆宏 西脇 由朗 西脇 雅子 平川 和貴 福田 知雄 福原 秀雄 古川 欣也 堀内 宏明 松井 裕史 武藤 学 村上 浩雄 村垣 善浩 森田 明理 守本 祐司 矢野 友規 山本 淳考
賛助会員	株式会社インテグラル SBI ファーマ株式会社 タカイ医科工業株式会社 日本化薬株式会社 株式会社 PhotoQ3 古河電気工業株式会社 ミズホ株式会社 Meiji Seika ファルマ株式会社

敬称略

委員会	規約委員会・委員長	小倉 俊一郎
	ガイドライン委員会・委員長	白田 実男
	編集委員会・委員長	井上 啓史
	教育委員会・委員長	村垣 善浩
	倫理委員会・委員長	坂本 優
	安全委員会・委員長	佐藤 俊一
	役員選出委員会・委員長	武藤 学
	涉外委員会・委員長	秋元 治朗
	保険委員会・委員長	土田 敬明
	財務委員会・委員長	奥仲 哲弥

## 日本光線力学学会 開催歴・予定

敬称略

	開催日時	大 会 長	開催地		開催日時	大 会 長	開催地
第1回	1991年10月6日	早田 義博 加藤 治文	東 京	第19回	2009年7月4日	荒井 恒憲	横 浜
第2回	1992年9月5日	中島 進	旭 川	第20回	2010年6月12-13日	三好 憲雄	福 井
第3回	1993年10月10日	奥田 茂	大 阪	第21回	2011年7月2-3日	粟津 邦男	大 阪
第4回	1994年9月3日	竹村 健	札 幌	第22回	2012年7月6-7日	松村 明	茨 城
第5回	1995年11月3日	平嶋登志夫	東 京	第23回	2013年6月7-8日	大崎 能伸	旭 川
第6回	1996年11月9日	阪田 功	岡 山	第24回	2014年6月28-29日	西脇 由朗	浜 松
第7回	1997年5月24日	西坂 剛	石 川	第25回	2015年7月10-11日	古川 欣也	東 京
第8回	1998年6月6日	三木 徳彦	大 阪	第26回	2016年6月25-26日	坂本 優	横 浜
第9回	1999年5月22日	會沢 勝夫	東 京	第27回	2017年7月14-15日	武藤 学	京 都
第10回	2000年5月20日	金子 貞男	岩見沢	第28回	2018年11月1-2日	村垣 善浩	東 京
第11回	2001年5月19日	吉田 孝人 平野 達	浜 松	第29回	2019年9月19-20日	佐藤 俊一	東 京
第12回	2002年5月25日	林 潤一	東 京	第30回	2020年10月9-10日	白田 実男	高 知 WEB
第13回	2003年3月22日	室谷 哲弥	東 京	第31回	2021年10月22-23日	松井 裕史	東 京 WEB
第14回	2004年5月29-30日	南 三郎	鳥 取	第32回	2022年11月25-26日	岡本 芳晴	米 子
第15回	2005年6月11日	尾花 明	浜 松	第33回	2023年11月25-26日	片岡 洋望	東 京
第16回	2006年5月13日	奥仲 哲弥	東 京	第34回	2024年11月9-10日	秋元 治朗	京 都
第17回	2007年6月16-17日	中村 哲也	栃 木	第35回	2025年11月22-24日	矢野 友規	東 京
第18回	2008年6月14-15日	松本 義也	名古屋	第36回	2026年5月22-23日(予定)	井上 啓史	高 知

## 編集後記

残暑が続いておりますが、朝夕は秋を感じられる頃となりました。さて来る11月22日(土)～11月24日(月・祝)の3日間、東京慈恵医科大学大学1号館におきまして、第35回日本光線力学学会学術講演会が開催されます。国立がん研究センター東病院の消化器内視鏡科 科長の矢野友規先生が大会長を御務めになります。LASER WEEK in Tokyo 2025 IVとして、第46回日本レーザー医学会総会(公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院 顧問、坂本優会長)、第21回日本脳神経外科光線力学学会(大阪医科大学 脳神経外科学教室 教授、鰐渕昌彦会長)との合同開催となる学術集会です。

LASER WEEK in Tokyo 2025 IVでは、「希望の光、レーザー医学・光線力学の進歩と挑戦」をテーマの中心として、基礎・臨床・医学・工学・薬学などの領域横断的な学術交流を目的としています。特に、レーザー医学の技術革新を中心としたAIが画像処理技術、癌の光線力学診断(PDD)、光線力学治療(PDT)、光免疫療法(PIT)の新たな試みが実施されており、レーザー医学・光線力学の新たな挑戦を描く内容となっております。また3学会の合同シンポジウムとして、「日本のレーザー医学、光線力学をどう盛り上げるか?」、「光免疫療法(PIT)の基礎と前臨床試験」、「光免疫療法(アルミノックス)の現状と将来展望」、「光線力学治療(PDT)の適応拡大」、「消化器内視鏡領域におけるレーザー治療」、「医療機器開発のイノベーションと規制科学」、「レーザー安全・医療安全」の7つが予定されており多彩な領域に渡る講演内容となっております。

Topicsとしては、総合病院厚生中央病院 秋元治朗先生から「IPA2025 in Shanghai, Chinaに参加して」、JPA理事長 古川欣也先生から「第22回韓国光線力学学会総会参加報告」というタイトルで国際学会参加報告のお話を頂戴しました。また国立がん研究センター東病院 矢野友規先生、京都大学 武藤学先生から「再発食道がんに対するサルベージ PDT 臨床導入10年の歩み」について、サルベージ PDT の10年間の御尽力された内容のお話を頂戴しました。

今後も、学会員の皆様にとって有益な情報発信を行う所存ですので、御期待下さい。

副編集委員長 福原 秀雄  
(高知大学 医学部泌尿器科学講座)



## 事務局からのお知らせ

### ◆理事会開催

令和7年9月11日（木）18時よりZOOMにて開催されました。

令和8年予算案、定款・会則の一部変更、事務所移転等承認されました。

### ◆評議員会開催

令和7年9月11日（木）19時よりZOOMにて評議員会が開催されました。

理事会報告があり、第38回日本光線力学学会学術講演会大会長について提言を受けました。

### ◆会員動向（2022.10～2025.9）

- ・会員 203名（正会員 195名、賛助会員 8社）
- ・賛助会員 8社（インテグラル、SBI ファーマ、タカイ医科工業、日本化薬、PhotoQ3、古河電気工業、ミズホ、MeijiSeika ファルマ）
- ・新規会員 47名（賛助会員 8社含む）増加、退会者 22名（長期会費滞納による除籍者 9名を含む）
- ・会費納入状況 2025年度（2025.4～2026.3）111名（2025年9月現在）

### ◆日本光線力学学会ホームページ（<https://www.jpa-pdt.or.jp/>）に、

対談第1回「がん治療に期待高まる PDT」以降、以下31回を掲載中（敬称略）

第1回「がん治療に期待高まる PDT」（古川欣也×加藤治文）

第2回「肺がんの PDT」（臼田実男×加藤治文）

第3回「食道がんへの PDT」（武藤学×加藤治文）

第4回「脳腫瘍の PDT」（秋元治朗×加藤治文）

第5回「新しいがん治療 iTAP 法」（浜窪隆雄×加藤治文）

第6回「子宮頸部がんの PDT」（坂本優×加藤治文）

第7回「乳がんの診断治療の最前線」（山田公人×加藤治文）

第8回「リウマチ診断治療の最前線」（林淳慈×加藤治文）

第9回「人工関節置換術の最前線」（林淳慈×加藤治文）

第10回「泌尿器科領域における光線力学的診断（PDD）」（井上啓史×古川欣也）

第11回「認知症予防に関する新しい提案」（工藤佳久×加藤治文）

第12回「泌尿器疾患と排尿障害の診断治療と予防の最前線」（松本哲夫×加藤治文）

第13回「がん医療の在り方」（垣添忠生×加藤治文）

第14回「下肢の血管の病気 1) 静脈瘤」（重松宏×加藤治文）

第15回「悪性脳腫瘍に対する最新の細胞医療」（赤崎安晴×加藤治文）

第16回「医療における働き方改革の課題」（高田和男×加藤治文）

第17回「脳梗塞の血管内治療」（奥村浩隆×加藤治文）

第18回「第33回日本光線力学学会学術講演会会長としての抱負と今後の新しい PDT 戦略」（片岡洋望×加藤治文）

第19回「虚血性心疾患の外科療法」（天野篤×加藤治文）

第20回「パーキンソン病」（水澤英洋×加藤治文）

第21回「糖尿病治療の最前線」（小田原雅人×加藤治文）

第22回「慢性間質性肺炎」（吉澤靖之×加藤治文）

第23回「肺結核、診断治療の今日」（大田健×加藤治文）

第24回「肺がんの外科療法」（宮島邦治×加藤治文）

第25回「膵臓がんの外科療法」（永川裕一×加藤治文）

第26回「持続可能な医療－資源も命も、有限である」（國頭英夫×加藤治文）

第27回「肝臓・胆のう・膵臓外科－中国での手術指導」（高崎健×加藤治文）

第28回「慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療の今日」（市瀬裕一×加藤治文）

第29回「血管の病気 2) 腹部大動脈瘤」（重松宏×加藤治文）

第30回「脳動脈瘤の血管内治療－新技術の登場でより効果的に」（奥村浩隆×加藤治文）

- 第31回 「東洋医学－名医は、病気になる前『未病』を治す」(木原洋美×加藤治文)
- 第32回 「こんな症状のときは・・・脳神経内科の利用のしかた」(岩田信恵×加藤治文)
- 第33回 「高齢者医療介護施設の現状と今後の在り方」(赤枝眞紀子×加藤治文)
- 第34回 「がん治療の未来を切り拓く PDT」(土田敬明 ×古川欣也 )
- 第35回 「iPSに期待される難病治療」(武藤学×加藤治文)
- 第36回 「人工関節手術とリハビリテーション」(山本謙吾×加藤治文)
- 第37回 「漢方医学」(馬驥(マキ) ×加藤治文)
- 第38回 「最近話題の非結核性抗酸菌症」(工藤翔二 ×加藤治文)
- 第39回 「脂肪肝(MASH)」～10年で10%が肝硬変、肝がん。国を挙げてMASH撲滅を～(森安史典×加藤治文)
- 第40回 「今後の創薬メーカーのあり方」(芦田信×加藤治文)

#### ◆年会費について

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)の年会費5,000円の納入をお願いいたします。9月末現在で未納の会員には、振込み用紙を同封しております。

速やかにお振込みをお願い申し上げます。

尚、10,000円の振込票が同封されている会員は、2024年度年会費が未納になっております。  
2025年度年会費と合わせてお振込みをお願い申し上げます。

年会費：2025年度 5,000円

(会費年度は4月1日より翌年3月31日迄、会計年度は10月1日より翌年9月30日迄です)

○お振込先は下記のいずれかよりお願い申し上げます。

☆【郵便振替】振替用紙を同封

口座番号：00150-9-371545

名 義：日本光線力学学会

他行から振替口座にお振込みの場合

店 番：019 店 名：○一九

口座番号：当座預金口座 No. 371545

名 義：日本光線力学学会

どちらの名義も「一般社団法人」の記載は不要です。

☆【三井住友銀行】

支 店：浅草橋支店 店番：614

口座番号：普通預金口座 No. 7467418

名 義：一般社団法人日本光線力学学会

ご不明の点は、事務局までお問い合わせ下さい。

一般社団法人 日本光線力学学会事務局 [info@jpa-pdt.or.jp](mailto:info@jpa-pdt.or.jp)

〒104-0045 東京都中央区築地3丁目12番2号 築地高野ビル5F

ホームページ <https://www.jpa-pdt.or.jp/>

以上

〔広告〕



**SBI Pharma**

<https://www.sbi-pharma.co.jp/>

**SBIファーマ株式会社**  
東京都港区六本木一丁目6番1号

# RevoLixX<sup>HTL</sup>

新世代のハイブリッドツリウムヤグレーザーは  
結石治療と軟部組織の外科的処置を行うことが可能

**Stone Management**  
1.3kW Peak Power Fragmentation  
Superior Dusting

**BPH and Soft Tissue**  
ThuVAP, ThuLEP, ThuVEP, ThuVaRP  
Pulsed Thulep, UTUC, ERBT etc.

**StopRÖK™**  
ホルミウムヤグと同じ  
設定条件で、最大94%  
の"Retropulsion"を  
抑制します。

**KühleDust™**  
ホルミウムヤグより  
もより細やかな砂状  
に破碎し、最適な熱  
緩和を可能にした  
ダスティング。

**Pulsed Wave**

**Continuous Wave**

**Extremely Versatile**  
軟部組織に対して2つの  
照射モードを使用するこ  
とができ、正確な蒸散や  
切除、切開が可能。

**Precise Coagulation**  
ホルミウムヤグよりも  
水に吸収されやすく、  
組織深達度が浅いため、  
迅速な凝固が可能。

**150W Hybrid Thulium-YAG Laser**  
All-in-one for Stone fragmentation, Super Dusting and Soft Tissue Treatment

医用機器総合商社  
**Takai**  
タカイ医科工業株式会社

〔広告〕

**PhotoQ3**

iTAPで新しいがん治療薬を開拓する

# 株式会社 PhotoQ3

—治療のできない世界に光を—

*Quest, Qualify, Quantify*

**Quest**  
それぞれのがんに特徴的な「顔」をプロテオゲノミクスで割り出します。

**Qualify**  
光とイムノトキシンのコンビネーションによって効率の高い治療法を提供します。

**Quantify**  
分子標的の定量的評価を行います。

〒153-8904 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学駒場IIキャンパス  
駒場オーブンラボラトリーア (KOL) 602号室  
TEL 03-5452-5742

Web : <https://photoq3.com/>  
Contact : [info@photoq3.com](mailto:info@photoq3.com)

**HEMS plus+** MNIRC-600

200 万画素 FHD 1920×1080

**MIZUHO** Medical Innovation

4色のLED光源を搭載  
蛍光カラーカメラ

3領域による波長での撮像が可能  
ALAモード FLモード ICGモード

販売名:近赤外カラーカメラシステム HEMS plus+  
製造販売届出番号:13B1X00306G11132

ミズホ株式会社 〒139-0033 葛飾区本郷3-30-13  
<https://www.mizuho.co.jp> 品販事業部／販売マーケティング部／販売技術部 TEL03-3815-3097 特販事業部 TEL03-4334-9111

**meiji**

PDT半導体レーザ  
**PDレーザ**  
<承認番号 21600BZZ00026000>

製造販売元  
**Meiji Seika ファルマ株式会社**  
東京都中央区京橋2-4-16  
<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>

PDT半導体レーザ  
**PDレーザ BT**  
<承認番号 22500BZX00420000>

文献請求先及び問い合わせ先  
Meiji Seika ファルマ株式会社 PDT事業部  
〒104-8002 東京都中央区京橋2-4-16  
TEL:03-3273-5789 FAX:03-3273-5620

作成:2024.9



The Japan Photodynamic  
Association